

報告(3)

日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の評価について

資料4

評価対象施設名	社会福祉法人柊の郷 オーシャンテラス・パークテラス				
評価日	令和5年8月25日				
1. 利用者状況 (うち木更津市支援)	障害支援区分	人数	内訳	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	0
	区分1	0			
	区分2	0		知的	82名(1名)
	区分3	1名			
	区分4	27名(1名)		精神	0
	区分5	24名			
	区分6	30名		合計	82名(1名)
	合計	82名(1名)			
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	(1)休日以外に平日でもGHで過ごすことを希望する利用者や、体調不良等で外出の出来ない利用者に対しては、GH内で介護支援を実施し、生活の質の向上を図っている。また、同一敷地内にある芝生広場でのボール遊びやバーベキュー、海岸通りでの散歩散策など、自然を満喫できるようなサービスの提供も行っている。 (2)各GHとも自動車で15分圏内にある生活介護事業所に通所している。				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	(1)車でのドライブや公園内の散歩散策、スーパーマーケットやコンビニ店での買い物支援など、人との触れ合いを大切にした支援を心掛けている。例として、地域の清掃活動に参加したり、地区自治会に加入して、地域の行事等に積極的に参加している。 (2)体験利用を積極的に受け入れている。 2022.4.1～2023.8.1まで72人を受け入れて、うち30人が本入居となっている。				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	(1)国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。 (2)年間を通して様々な研修を実施している。虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、自閉症基礎研修、感染症研修、AED救命研修など				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	(1)地区自治会に加入し、お祭りなど地域の行事等に積極的に参加するようにしている。また、当法人の企画するお祭りやクリスマス会などで、利用者のご家族、地域の方などとの触れ合いの場を提供することとしている。 (2)感染対策を万全にしながら慎重に実施している。				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	(1)希望があれば受け入れることは可能である。現状では、体験利用から本入居へのニーズを優先させている。 (2)無し				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	GHの新規開設を行っており、相談支援事業者等と連携を取りながら、入所希望者を募っている。				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。感染症対策、利用者の安全に配慮し、利用者が地域と交流を持てるよう支援していただきたい。管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりにも配慮し、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。また、相談支援事業所等との連携にも努めていただきたい。				

報告(3)

日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の評価について

資料4

評価対象施設名	株式会社恵 グループホームふわふわ(貝淵、桜井新町、幸町)				
評価日	令和5年8月25日				
1. 利用者状況 (うち木更津市援助)	障害支援区分	人数	内訳	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	6名(2名)
	区分1	0			
	区分2	1名		知的	30名(6名)
	区分3	1名			
	区分4	15名(8名)		精神	13名(3名)
	区分5	19名(1名)			
	区分6	13名(2名)		合計	49名(11名)
	合計	49名(11名)			
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	(1)主に平日は、生活介護に通所されるので送り出し準備と受け入れ業務、土日は余暇活動等を行っている。職員支援業務としては、食事提供、排泄介助、入浴介助、買い物支援、掃除、洗濯、居室の整理、余暇活動、受診同行、服薬管理がある。 (2)生活介護リル木更津貝淵 他				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	(1)利用者様ごとに外出(お買い物支援)の計画組みやレクリエーション等を実施している。 (2)新規利用者様について緊急ではない限り、極力体験利用をしてもらう。3日～7日間または、複数回の体験を通して入居していただくよう案内をしている。				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	(1)日中(平日)1ユニット2名(管理者含む)夜間従事者1ユニット1～2名 土日1ユニット2～3名(管理者含む)夜間従事者1ユニット1～2名 (2)事業所単位での虐待防止委員会の組織と会議運営を実施し、本部の虐待防止委員会にて研修等を行っている。 外部研修として、強度行動障害研修などの受講実績がある。				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	(1)地域交流については、年に数回、地域のごみ拾い等の行事に参加している。 家族様とは、利用者様について細かな情報共有を行っており、余暇活動や普段の生活での出来事をグループホームにお越しになられた際にお伝えしている。 また、余暇活動での思い出などを形に残すため、ふわふわ新聞の作成やアルバムなどを製作している。お散歩支援の際などにあいさつ運動を通して認知度が上がってきていると思われる。交流会などを今後企画していきたい。 (2)昨年度実施できていないので、実施先を募集したいと考えている。申し出があれば受け入れていきたい。				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	(1)地域での利用者様を積極的に受け入れている。 (2)幸町で1件利用あり。ご家族より、利用者の環境の変化により、家族に対する暴力行為があり困っているとの連絡を受け、緊急に短期利用していただいた。				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	利用者に対する問題があれば、相談員に連絡を取り、会議の開催や支援方法について相談を行っている。他のサービス事業所とは連絡ノートを使用するなどして、その日の利用者の状態などを共有している。				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。感染症対策、利用者の安全に配慮し、利用者が地域と交流を持てるよう支援していただきたい。管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりにも配慮し、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。また、相談支援事業所等との連携にも努めていただきたい。				

報告(3)

日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の評価について

資料4

評価対象施設名	社会福祉法人のゆり会 のぞみホーム				
評価日	令和5年12月4日				
1. 利用者状況 (うち木更津市援護)	障害支援区分	人数	内訳	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	0
	区分1	0			
	区分2	1名(1名)		知的	10名(5名)
	区分3	0			
	区分4	0		精神	0
	区分5	6名(2名)			
	区分6	3名(2名)		合計	10名(5名)
	合計	10名(5名)			
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	(1)全員通所施設を利用しているため、平日の日中をGH内で過ごす利用者は、現在いない。 (2)生活介護9人通所、就労継続支援B型1人通所している。生活介護利用中の方1人は、介護保険のデイケアを週3回利用している。				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	(1)入居者の誕生月にはレストラン等への外食、季節行事として初詣、七夕、ハロウィンやクリスマスパーティーなどを開催している。月1回土曜日にボランティアによる音楽療法を実施している。その他、土日祝日などは、近隣散歩、ドライブ、買物支援などを行って、余暇活動などを支援している。加えて、地元公民館の文化祭に参加し音楽演奏を披露している。 (2)体験利用の希望者は現在まで0人。定員が充足のため体験利用は実施していない。GHへの入所希望者は、ショートステイを利用している。				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	(1)日中・土日・祝日を含めて、利用者がホームに滞在している時間帯は、職員を1人以上配置して、介護の他、余暇活動などを支援している。 (2)虐待防止研修、身体拘束についての知識習得、オムツ交換等介護技術向上研修、その他に実際の支援の場を通じてのOJTを実施している。				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	(1)家族との交流の機会として、2周年記念パーティー、BBQパーティー、クリスマス会を実施している。加えて、地区のお祭り(御神輿巡行)の見学、地区公民館文化祭へ参加している。 (2)月1回、ボランティアによる音楽療法で楽器演奏、リズム体操などを実施。実習生の受け入れ用意はあるが、実習生の受け入れ実績は無い。				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	(1)令和4年度は、延べ日数410日短期入所利用。 (2)令和4年度は緊急一時的な利用例はない。令和5年度は、主な介護者である保護者の入院に伴い、65日連続の受入れを実施した。				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	相談支援事業所とは、モニタリングの際の利用者面談に立ち会い情報交換と個別支援計画への助言等を得ている。通所施設とは、日々連絡ノートによる情報共有。メール・電話などの情報交換の他に、双方が訪問しあい共通認識を持つようにしている。介護保険ケアマネジャーとは電話やメールで情報共有を行い、デイケア施設とは、通所日の連絡ノートによる情報共有を行っている。				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	概ね良好である。感染症対策、利用者の安全に配慮し、利用者が地域と交流を持てるよう支援していただきたい。管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりにも配慮し、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。また、相談支援事業所等との連携にも努めていただきたい。				

報告(3)

日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)の評価について

資料4

評価対象施設名	NPO法人新祐会 万石の家				
評価日	令和5年12月4日				
1. 利用者状況 (うち木更津市援護)	障害支援区分	人数	内訳	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	1名
	区分1	0			
	区分2	0		知的	13名 (3名)
	区分3	1名			
	区分4	0		精神	0
	区分5	3名			
	区分6	10名(3名)		合計	14名 (3名)
	合計	14名(3名)			
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	(1)通所利用は行わない日中サービス支援型の運営サービスの為、利用者方々に合わせた個別課題・合同作業・ドライブ・施設庭園での運動やバーベキュー、ニーズに合わせて訪問リハビリや訪問入浴を依頼し、買物・整容・整髪・入浴・通院・往診の支援、手作りの食事とおやつ提供等を主に行っている。 (2)無し。				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	(1)通院や買物の同行とドライブや近隣の散歩、外食の中で人との触れ合いや物品選択の様々な感覚に触れていただき、日々の日中活動に何かしらの活力となるよう支援方法を思慮し活動していただいている。 (2)体験前の見学と体験利用を必須としている。体験利用に当たっては、昼食の時間帯等の短時間の体験利用も可				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	(1)国や県の定める基準に従い職員配置を行っており、24時間体制の支援を確保している。 (2)年間を通して様々な研修を実施し、職員会議での意見交換・社内アンケートの実施から更なる向上を図っている。				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	(1)利用者の家族面会・家族との外出や外泊、近隣住民に多目的ホールを開放し、お茶会等でご利用いただいている。 (2)舞踊団の訪問講演にお越しいただくこともあり受け入れ態勢は整っている。				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	(1)居室が空いている場合、依頼があれば受け入れており稀に希望者が重複した場合に限って木更津市の方を優先としている。 (2)親御様の緊急入院時や障がい福祉課・相談支援員・ケアマネージャーからの緊急依頼等で受け入れ				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	利用者のニーズに必要なかつ向上を図れる物事の活用に定期的な連絡と状況変化の連絡をはじめ連携を取っている。				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。感染症対策、利用者の安全に配慮し、利用者が地域と交流を持てるよう支援していただきたい。管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりにも配慮し、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。また、相談支援事業所等との連携にも努めていただきたい。				